

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1495200246
法人名	社会福祉法人 ばなな会
事業所名	のんびりーす等々力
訪問調査日	2014年11月20日
評価確定日	2015年2月27日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
外部評価は20項目です。  
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
[取り組みの事実]  
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
[次ステップに向けて期待したい内容]  
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
家族 = 家族に限定しています。  
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495200246	事業の開始年月日	平成25年11月1日
		指定年月日	平成25年11月1日
法人名	社会福祉法人 ばなな会		
事業所名	のんびりーす等々力		
所在地	( 211-0053 ) 神奈川県川崎市中原区上小田中2-10-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成26年10月1日	評価結果 市町村受理日	

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成26年11月20日	評価機関 評価決定日	平成27年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①この事業所の経営は、社会福祉法人ばなな会です。この法人は、株式会社アイ・ディ・エスと共に、バナナ園グループを構成しています。バナナ園グループは、川崎市のグループホームの草分けとして最初の事業所を平成10年に開設以来、現在は、9事業所を運営しています。この事業所は、JR南武線武蔵新城駅から徒歩で9分ほどの住宅街に位置しています。

②法人の理念は「明るく・楽しく・自由に、お客様の安全と尊厳、経営の安定、生活の向上を図る。そして我々のサービスを通じて地域社会に貢献する」です。理念は、リビングに掲示して毎朝のミーティングやケア会議で確認して職員間の共有を図っています。各職員は日々の介護に当たり、利用者の人格を尊重し、利用者の立場で思い、利用者の心に寄り添う支援をしています。

③地域とは良い関係が作られつつあります。町内会に加入し、夏祭り、餅つき、美化清掃、防災訓練などの地域行事に参加しています。散歩時、近隣の畑で作業をしている方達にご挨拶し、声をかけて頂いたり野菜を頂いたりしています。事業所の狂言教室に地域の人に来てくれたり、犬の散歩などで立ち寄ってくれることもあります。近所の中学校福祉体験の受け入れも行っています。

④職員を育てる取り組みについては、法人として職員のスキルに応じて新入社員研修、非常勤研修、常勤研修、管理者研修を積極的に取り組んでいます。加えて、法人の研修を補う形で重要度の高い項目や緊急性のある事項について各事業所内研修があります。研修内容は、マナー・接遇、認知症、緊急時対応、虐待と拘束、リスク管理、薬の知識など、介護に必要なものが網羅されています。この他に、外部研修、資格研修なども必要に応じて、参加するように配慮されています。入社から1年間のマナー・業務をチェックする「あゆみの記録」により、成長過程を見守ります。そして、「自己評価に基づく人事評価制度」によって向上心を持って働ける仕組みになっています。法人と事業所内の教育体制が整備され、職員の研修がきちんと実施されているのでご利用者に対する職員の対応が良いです。

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://bananaen.com/">http://bananaen.com/</a>
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループ理念である「明るく・楽しく・自由に」をモットーに「心に寄り添うケアの提供」と事業所方針を掲げ、ご入居者様の人格を尊重し、ご入居者様の立場に立った自立支援に努めています。

また、家庭的で落ち着いた雰囲気の中、ご入居者様とスタッフ共に、穏やかな時間を過ごし、ご本人の思いに寄り添えるよう密なコミュニケーションと、スタッフ間のチームワーク作りに励み、ご入居者様方が安心し、自分らしい、当たり前前の生活ができるよう努めています。

日々変化する認知症症状に対応できるよう現状に満足する事なく、常に疑問を持ち、学ぶ姿勢を忘れず、チームケアによる認知症介護の質の向上を図っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	のんびりーす等々力
ユニット名	

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・グループ理念である「明るく、楽しく、自由に」をモットーに毎朝のミーティング、ケア会議、勉強会等、常にスタッフ間で理念の共有を図り、ご入居者様がこれまでの生活と変わりなく、住み慣れた環境や地域で、自分らしい生活が送れるよう支援している。	法人の理念は「明るく・楽しく・自由に、お客様の安全と尊厳、経営の安定、生活の向上を図る。そして我々のサービスを通じて地域社会に貢献する」です。理念は、リビングに掲示して毎朝のミーティングやケア会議で確認して職員間の共有を図っています。各職員は日々の介護に当たり、利用者の人格を尊重し、利用者の立場で思い、利用者の心に寄り添う支援をしています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・開設約1年、町内会に加入し季節行事の案内をいただき少しずつ参加している。また日々の散歩時、近隣の市民農園や畑で作業をしている方達に御挨拶し、声をかけて頂いたり野菜を少し頂いたり親交を深めている。近所の中学校福祉体験の受入れも行っている。	地域とは良い関係が作られつつあります。町内会に加入し、夏祭り、餅つき、美化清掃、防災訓練などの地域行事に参加しています。散歩時、近隣の畑で作業をしている方達にご挨拶し、声をかけて頂いたり野菜を頂いたりしています。事業所の狂言教室に地域の人が来てくれたり、犬の散歩などで立ち寄ってくれることもあります。近所の中学校福祉体験の受入れも行なっています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・運営推進会議では認知症介護、認知症の症状等について、話す場を設け、意見交換を行っている。ホーム見学やボランティアで来園される方々にも事業所内の支援の様子や方法を説明させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議開催日は、音楽療法、狂言教室等の行事を開催し、なるべく多くの方々に参加していただける様工夫している。会議内容は毎月の活動報告や普段の取組みを報告すると共に参加者からの意見、要望、助言を参考に今後の方針、予定を考え、サービスの向上に活かしている。	2か月に1回、事業所の音楽療法、狂言教室等の行事に合わせて開催し、メンバーは管理者、職員、入居者、ご家族、町会役員、町会員、地域包括、区の職員によって行います。議題は、入居者状況、活動報告、行事報告などです。意見は運営に反映しています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・運営推進会議には、包括支援センター、中原区保健課の方に毎回（年6回）連絡し出席をお願いしている。開催終了後は議事録を渡し、情報連絡している。また毎月、社内報を届ける事で、情報提供頂ける関係作りに努めている。	運営推進会議には、包括支援センター、中原区保健課の方に毎回（年6回）連絡し、出席をお願いしています。開催終了後は議事録を渡し、情報連絡しています。また毎月、社内報を届ける事で、情報提供頂ける関係作りに努めています。行政が行う講習会（ノロウイルス、インフルエンザ、認知症など）には必ず出席します。介護相談員の受け入れも始めました。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束に関しては、常に指定基準の細かな禁止行為について、朝のミーティングやケア会議で話し合う場を作り全職員に周知徹底している。拘束のない認知症介護の徹底が図れるよう声掛け、スキンシップ等、工夫しながら日々ケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについては、採用時研修、法人研修、事業所内研修が整っているので十分に周知しています。身体拘束をしないケアの取り組みは、誘発する原因を探り除去することにより、試行錯誤しながら取り組んでいます。外出願望の人には、その「根もと」を理解し、見守りと寄り添いの支援をしています。玄関の施錠については、車道への飛び出し、事故防止のため、家族の了解を得て施錠しています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・管理者、職員は内部・外部研修を受け、虐待防止関連法の内容を細かく学び、ミーティング、ケア会議等でも常に虐待防止徹底について周知している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・管理者、職員は内部・外部研修を受け制度について学んでいる。 ・管理者、ケアマネを中心に、関係者と話し合い、情報提供・助言をいただき支援に繋げている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約書・重要事項説明書の説明を行い、充分に理解納得して頂ける様説明している。 ・ご本人・ご家族からの質問や疑問も納得して頂けるまでお答えしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見を上手に表すことが出来ない入居者様には日常の会話や表情など観察し、本人の望む事を理解するよう努め対応している。 ・ご家族様には運営推進会議の参加時や面会時、毎月送付している『入居者様のご様子』も参考に要望を伺い、ケア会議等で検討し、今後に反映させている。	重要事項説明書や運営規定、契約書に苦情の受付窓口とその対応を明記して、契約時に説明をしています。家族の来園時や運営推進会議時に職員から気軽に声かけをし、事業所での暮らしぶりを話す中から意見、要望等を聴いています。頂いた意見、提案、苦情は職員会議で検討の上、運営に反映させています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎朝のミーティング、ケア会議等で全職員の意見を聞く機会を設け、意見交換し、必要に応じ実践する事で、職員の介護技術の向上、やる気の向上を図っている。また常に管理者と職員が気楽に話し合える関係作りを心掛けている。	現場の職員が行う毎朝夕礼やフロアーミーティング時に、職員間の気付きや意見を提案として出してもらい運営に反映できるよう努め、職員のモチベーションアップに繋げてます。管理者と職員の間は日々の会話を通じて、仲間として何事でも気軽に話し合える関係が築かれています。個人面談は、3月、9月の年2回自己評価などの話し合いが行われます。費用を伴う内容案件は、代表者決済を得て反映させています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・職員の人事評価制度を行い、昇給について対応し働く意欲の向上に努めている。 ・交付金の利用により、手当ての改善を図っている。 ・外部研修の参加費用を負担している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・管理者研修、常勤研修、非常勤研修、新入社員研修等、職員のレベルに合った研修を随時行い、スキルアップを図っている。 ・研修後、研修報告を利用しフィードバックしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・実践者研修、リーダー研修、管理者研修等外部研修に積極的に参加し、他事業所との交流、情報交換の場を設け質の向上を図っている。 ・法人内でも毎月の常勤研修、非常勤研修に参加し交流を深めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居前のアセスメントの段階で、本人の性格や生活歴を充分理解し、出身地や趣味等の話しが出来るようにする。 入居後はそれらを活用し、心に寄り添う介護を心掛け、信頼関係を築き、本人が自分の思いを伝えられる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・15同様、入居前アセスメントの段階で、本人はもちろんの事、家族の悩みや不安にも耳を傾け、今後の対応や方針を一緒に考え、信頼関係が築けるよう努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人、家族との入居前アセスメントから導きだした、『今』のニーズを皆で一緒に考え、介護計画書へ反映し、納得いくまで話し合った結果、同意をいただいている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・テーブルを囲んで一緒に食事をとり、清掃をしながら会話を楽しみ、入浴時は一緒に歌を歌ったりと家族に近い関係を築いている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族の方が面会にいらした時は現在の状況を詳しくお伝えし、またご家族には、ご本人の生活歴をうかがい、情報の共有に勤めている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・年賀状、定期的なお友達への手紙を出すための支援をしている。 ・ご家族や友人の面会時はご希望にそえるよう環境に配慮し、その時間を充実し楽しい時間を過ごして頂けるよう努めている。 ・お墓参り、お葬式等ご家族の協力の下に支援を行っている。	これまでの本人の馴染みの場所や人間関係の把握は、日頃の会話やサービスを開始する段階にご自宅を訪問し、家族からの情報等で把握しています。友人、家族に対する手紙や電話の取次ぎの支援、ご家族は勿論の事、知人の来所面接には本人やご家族の意向を確かめて、ゆっくり楽しい時間を過ごして頂けるよう支援を行っています。ご家族には、毎月1回生活状況報告して安心して頂く支援をしています。今までに墓参り等、家族の協力の下に支援を行っています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご入居者様のその時の気分を尊重し声掛けに努めている。</li> <li>・散歩、ゲーム、掃除等スタッフも含め、ご入居者様同士が声を掛け合い、協力しあえる生活が出来るよう支援している。</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退去相談は勿論の事、退去後も必要であれば、いつでも相談できる体制を整えている。</li> <li>・入院から退去に至る場合、今後の施設や生活を把握している。</li> </ul>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活支援.コミュニケーションから、本人の思いを読み取り、その人らしい生活が出来ているのか常に全職員で検討している。</li> <li>・寄り添う介護で、思いを伝えられる方には心を開いて頂く努力。伝えられない方は、周辺症状や生活歴、表情から本人本位を読み取れるよう介護技術の向上をめざしている。</li> </ul>	ホームにおける日々の支援の中で、心身の情報、本人の能力、本人からふと漏れる言葉、家族の発言、職員の対応等、ケアのヒントや工夫などの出来事ありのままの言葉で時系列に個人記録に記入します。医療情報は、看護記録、医師受診記録に記載します。特に変化があった事象に関しては、業務日誌にまとめて記入し、申し送り事項にします。利用者のライフスタイルや生活の喜びがどこにあるのか、人間関係はどのような形が本人にとって好ましいのか、常に把握する努力をしています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に介護者は本人の入居アセスメント、介護計画書を確認し、理解した上でサービスを行うよう努めている。</li> <li>・本人との日々のコミュニケーションの中からこれまでの長く尊厳ある生活歴を1つ1つ聴ける様な関係作りを心掛けている。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々変化する認知症介護では、現状ケアに満足する事なく、常に変化に気付くよう観察し、スタッフ間でミーティングや連絡帳を使い情報の共有を行っている。</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝行うスタッフミーティング、月1回行うケア会議、連絡帳等で、本人の現状を把握し、本人、家族、担当医、居室担当とも充分話し合いをもちながら本人本位の介護計画を作成している。</li> <li>・3ヶ月に1回モニタリングを行い、現状について確認、評価している。</li> </ul>	介護計画作成については、入所時は、これまでに得られているアセスメントにより暫定計画を作り、1カ月程度ケアしながら経過観察します。その結果得られたモニタリング評価、医療情報を元に作成した原案を、カンカレンスで全スタッフにより検討し、再度、本人やごの家族の意見を加味して最も適切と思われる介護計画を作成しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の状況、状態は必ず個人日誌、連絡帳に記録し、職員は共通の情報を共有し、介護計画書の見直しにも活用している。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、状態の変化、本人の思いを読み取り、現状必要としている事を見落とさないよう、スタッフ間の密な情報交換と既存のサービスに捉われない支援の工夫に日々努めている。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の回覧板、地元のスタッフの情報を収集して催し物や清掃に参加して四季折々の自然を満喫していただいている。</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医、看護師とは24時間体制で連絡が取れるように連携体制を整えている。月2回の訪問診療実施以外にも気軽に連絡、相談、指示を仰ぎ、安全で安心な生活を支援している。</li> </ul>	本人、家族の意見を尊重し希望の医療機関を決めています。協力医療機関と更に、訪問看護ステーションの看護師の協力で、休日・夜間を含む24時間体制での緊急時対応体制を整え、協力医による治療や入院手配などの適切な医療支援が行われています。1階、2階各々月2回往診医が見えるので、月に4回事業所に来て頂いています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・週一回の健康管理チェックを実施。医療情報交換を通し適切なケア、アドバイスを頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院、退院時には介護サマリー介護サマリーを介して情報を共有している。また退院後のより良い生活を支援できるようにMSWや主治医からアドバイスをいただいている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・入居時に医療機関との連携体制等についての重度化した指針について十分な説明と同意をいただいている。 ・終期末には主治医から十分な説明をご家族にいただき、同意の上、今後の方針を決め、主治医、看護師、ご家族、介護士で連携支援していく。	入居時に医療機関との連携体制等についての重度化した指針について、十分な説明と同意を頂いています。終末期には主治医から十分な説明をご家族にして頂き、同意の上、今後の方針を決め、主治医、看護師、ご家族、介護士で連携支援していきます。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・定期的な研修を重ね、緊急マニュアルを確認しながら、スムーズに対応できる様に学んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・消防署協力のもと、様々な災害を想定し、研修、消火訓練、避難訓練を定期的実施している。その際、職員緊急連絡網・災害時の行動手順・備蓄の確認を行っている。	年に1回消防署立会いの夜想定避難訓練を実施しています。その他に防災設備の点検が年2回あり、その際に事業所内の訓練を合わせて実施しています。また、事業所単独の避難訓練を年1回行っています。そして、地域の避難訓練にも参加しています。備蓄は、水、食料を3日分、懐中電灯、ランプ、石油ストーブなどの備品を備えています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な研修を重ね、また定例の業務会議、ケア会議を通して話し合いをし、人格を尊重した声かけに努めている。</li> <li>ご利用者様の個人のデータは鍵付き書庫で管理している。</li> <li>契約書にも記載のある個人情報保護方針を事業所内に掲示し全職員理解し共有している。</li> </ul>	採用時研修、法人研修、事業所内研修で、倫理、接遇などの研修をしています。日々の会話やケアを通して全職員が利用者の人格尊重とプライバシー遵守を理解しています。人に聞かれたくない言葉は、本人だけに聞こえるように配慮し、人生経験の豊かな利用者の自尊心を大切に、病気によって人格まで否定されたと感じることはないように、本人の本来ある姿を見出した接し方に努めています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ全員傾聴を心掛けている。また居室担当者を置き、ご入居者様の様子の変化にいち早く気づき、ご自分の思いを語られるよう信頼関係を築く努力をしている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>『明るく・楽しく・自由に』のグループ理念に則りご本人の意思を尊重し、傾聴の姿勢を崩さずに支援している。</li> <li>パーソンセンタードケアの概念を取込み、ご本人の立場に立って考え、支援を行う。</li> <li>介護者主体の介護にならない様、常に疑問を持ち支援する様心掛けている。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の好みに任せ服を選んで頂いている。又お着替えがご本人で出来ない場合でも、複数の衣服を掲げご本人の意思により選択して頂く様にする等、楽しく充実した生活が送れる様工夫している。</li> <li>2.3ヶ月に1度、訪問美容に来て頂き、ご本人の望む髪型にしている。</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>食前はテーブル拭き、配膳等、出来る事に参加して頂いている。</li> <li>食事はご入居者様、スタッフ全員と一緒に談笑しながらご入居者様のペースに合わせて同じ物を頂いている。</li> <li>食後は出来る範囲で片付けや食器拭きに参加して頂いている。</li> </ul>	生活の中で自分の役割を持ち、生き生きとした生活をして頂く為に、食事の時にはお盆拭き、テーブル拭き、カップ洗い、盛り付け、後片付けなどには、利用者の残存能力を活かし、手伝ってもらっています。季節の行事の時は、行事食を作り、誕生日にはケーキを作り祝っています。時折、外食を食べに行くこともあり、利用者が楽しめるよう支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事チェック表にて食事、水分摂取量の確認、夏日は昼夜水分補給強化を行っている。</li> <li>・高齢者向けの配食を委託、メニュー、カロリー、脂質、塩分等詳細にバランスを考慮し記録保管も行う、月初は体重測定も行う。</li> <li>・健康状態を把握し、体調に合わせて刻み、トロミなど食事形態を変更、工夫している。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の歯磨きやうがいの声掛け、介助を行っている。</li> <li>・口腔ケアが通常用具で難しい場合は介護用全方向歯ブラシを使用し支援をしている。</li> <li>・就寝前の入れ歯洗浄実施。</li> <li>・訪問歯科による往診、指導を受けている。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄表、ケア会議などで本人の排泄パターンを把握し、さりげなくトイレ誘導する等、自立支援に努めている。</li> <li>・自尊心、尊厳を保てる様に、声かけと周囲の眼差しにも配慮しながら対応している。又、衛生面にも配慮している。</li> </ul>	排泄表、ケア会議などで本人の排泄パターンを把握し、さりげなくトイレ誘導する等、自立支援に努めています。自尊心、尊厳を保てるように、声かけと周囲の眼差しにも配慮しながら対応しています。又、リハパン、パットの取り換え、失禁時の洗浄など衛生面にも配慮しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事では高齢者向け配食による綿密なバランス管理を行う。又、水分表を確認しながら1日1500ccの水分摂取を心掛けている。</li> <li>・ご本人の体調に合わせて散歩や体操等なるべく運動し安定した自己排便を促している。</li> <li>・排泄管理表を確認しながら便状況を確認し個々の状況を周知、対応を工夫している。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調チェックし可否判断行っている。</li> <li>・不安や羞恥心を無くす様、個浴や同性介助等工夫し、楽しく入浴出来る様、色々な入浴剤を使用したり、歌唱しながらと本人の希望を聞きながら支援している。</li> <li>・ヒートショック、湯温、皮膚変調、疾患にも注意を払っている。</li> </ul>	入浴は週2回以上入るようにしています。体調などをチェックし、入浴可否の判断を行っています。不安や羞恥心を無くすよう、個浴や同性介助等に工夫し、楽しく入浴出来るよう、色々な入浴剤を使用したり、歌をうたいながら本人の希望を聞き、支援しています。ヒートショック、湯温、皮膚変調、疾患にも注意を払っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中声掛けにより本人の体調を考慮しながら散歩やレクリエーション等に参加して頂き、夜間の良眠に繋がるよう工夫している。</li> <li>・強制、強要、否定等により負の感情を誘発させず、肯定、傾聴、納得(して頂く)等によりご本人の尊厳を尊び穏やかな気持ちで、夜間快適に安眠出来るよう努めている。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア会議等でご利用者様方の薬の内容、変化、目的、状態について主治医意見、薬情報をもとに話し合っている。投薬チェック表を確認しながら食後の服用を見届けるよう支援している。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃や洗濯物たたみ、配膳等、ご本人らしい生活が出来るような役割を持ち生活できるよう支援している。</li> <li>・散歩、カラオケ、読書等、生活歴からご本人が好む時間が過ごせるよう支援している。</li> </ul>		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日はご入居者様方の希望を聞き、近隣への散歩が日課になっている。コース、行き先はご利用者様一人一人の状態、希望に合わせて選んでいる。また、お花見、初詣の神社参拝などご本人の希望に沿うよう支援している。お墓参り等の遠出希望はご家族様に相談し、支援している。</li> </ul>	天気の良い日は利用者の希望を聞き、テラスでの外気浴や近隣への散歩が日課になっています。コース、行き先は、近くの農園、二ヶ領用水の亀や鯉などを見たり、利用者一人ひとりの状態、希望に合わせて選んでいます。また、季節に応じたお花見や、初詣の神社参拝等、本人の希望に沿うよう支援しています。お墓参り等の遠出希望はご家族に相談し、支援しています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様と一緒に買い物に行き、金銭感覚を維持できるように努めている。金銭管理が難しい方の購入希望物は、ご家族様に相談、確認し、職員が行っている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族からの電話の取り次ぎや伝言、希望に応じてご家族への電話をかける事の支援をしている。</li> <li>年賀状や手紙のやり取りも、希望に応じて対応している。</li> </ul>		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>共用フロアは、清潔でゆったりとした空間を造り、ご利用様が安全で動きやすいスペースを確保している。また観葉植物やお花等も飾り、ご利用者様に季節感を感じていただいている。</li> <li>掲示板には、行事や思い出の写真等を飾り、ご利用者様に楽しんでいただいている。</li> </ul>	共用フロアは、飾り物がシンプルで高級感を醸しています。壁には大きく上品な絵の額が2か所にセットされ、清楚でゆったりとした空間づくりがされ、利用者が安全で動きやすいスペースを確保しています。また、要所に観葉植物やお花等も配置され、利用者に季節感を感じてもらえるよう配慮しています。掲示板には、行事や思い出の写真等を飾り、利用者が思い出して楽しみ、会話のきっかけにもなっています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>リビングのテレビ観賞を中心に、会話や読書など、ご入居様がゆったりとくつろげる空間造りを心掛けている。また居室、リビング、中庭等自由に行き来できる環境作りに努めている。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>居心地良く過ごして頂く為に、ご本人と一緒に室内の整理整頓を行い、清潔で利用しやすいお部屋の維持に努めている。また馴染みの物を置くことで安心して生活出来るよう工夫している。</li> <li>窓を開けての空気の入替えは毎日行い、エアコンのフィルター清掃も月に二回実施している。</li> </ul>	居心地良く過ごして頂く為に、本人と一緒に居室内の整理整頓を行い、清潔で利用しやすい部屋の維持に努めています。また、自宅で使用していた整理ダンス、家族写真など馴染みの物を置くことで安心して生活出来るよう工夫しています。窓を開けての空気の入替えは毎日行い、エアコンのフィルター清掃も月に二回実施して清潔で快適に過ごせるように配慮しています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全第一をモットーに、居室を始め、廊下やお風呂場などには手摺を設置してる。</li> <li>ご入居者様には無理のない自立した生活を送って頂ける様に、ベッドの高さの工夫や椅子やテーブルの位置を工夫している。</li> </ul>		

目 標 達 成 計 画

事業所

のんびり一す等々力

作成日

平成26年11月20日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策における地域との協力体制	災害時は昼夜問わず、近隣住民の協力が得られるような関係を築く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の社内報の配布による顔馴染みの関係作り</li> <li>・町内会への加入及び行事への参加</li> <li>・災害時の協力内容のマニュアル化</li> </ul>	1年
2	4	運営推進会議の出席者の増加	特にご家族には、運営推進会議の意味を理解していただき、興味をもって参加していただく事で事業の運営に活したい	開催時、ご家族や地域住民の方が興味を持っていただける様な行事や講習会を同時開催する	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	のんびりーす等々力
ユニット名	

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・グループ理念である「明るく、楽しく、自由に」をモットーに毎朝のミーティング、ケア会議、勉強会等、常にスタッフ間で理念の共有を図り、ご入居者様がこれまでの生活と変わりなく、住み慣れた環境や地域で、自分らしい生活が送れるよう支援している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・開設約1年、町内会に加入し季節行事の案内をいただき少しずつ参加している。また日々の散歩時、近隣の市民農園や畑で作業をしている方達に御挨拶し、声をかけて頂いたり野菜を少し頂いたり親交を深めている。近所の中学校福祉体験の受入れも行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・運営推進会議では認知症介護、認知症の症状等について、話す場を設け、意見交換を行っている。ホーム見学やボランティアで来園される方々にも事業所内の支援の様子や方法を説明させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議開催日は、音楽療法、狂言教室等の行事を開催し、なるべく多くの方々に参加していただける様工夫している。会議内容は毎月の活動報告や普段の取組みを報告すると共に参加者からの意見、要望、助言を参考に今後の方針、予定を考え、サービスの向上に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・運営推進会議には、包括支援センター、中原区保健課の方に毎回（年6回）連絡し出席をお願いしている。開催終了後は議事録を渡し、情報連絡している。また毎月、社内報を届ける事で、情報提供頂ける関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束に関しては、常に指定基準の細かな禁止行為について、朝のミーティングやケア会議で話し合う場を作り全職員に周知徹底している。拘束のない認知症介護の徹底が図れるよう声掛け、スキップ等、工夫しながら日々ケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・管理者、職員は内部・外部研修を受け、虐待防止関連法の内容を細かく学び、ミーティング、ケア会議等でも常に虐待防止徹底について周知してる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・管理者、職員は内部・外部研修を受け制度について学んでいる。 ・管理者、ケアマネを中心に、関係者と話し合い、情報提供・助言をいただき支援に繋げている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約書・重要事項説明書の説明を行い、十分に理解納得して頂ける様説明している。 ・ご本人・ご家族からの質問や疑問も納得して頂けるまでお答えしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見を上手に表すことが出来ない入居者様には日常の会話や表情など観察し、本人の望む事を理解するよう努め対応している。 ・ご家族様には運営推進会議の参加時や面会時、毎月送付している『入居者様のご様子』も参考に要望を伺い、ケア会議等で検討し、今後に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎朝のミーティング、ケア会議等で全職員の意見を聞く機会を設け、意見交換し、必要に応じ実践する事で、職員の介護技術の向上、やる気の向上を図っている。また常に管理者と職員が気楽に話し合える関係作りを心掛けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・職員の人事評価制度を行い、昇給について対応し働く意欲の向上に努めている。 ・交付金の利用により、手当での改善を図っている。 ・外部研修の参加費用を負担している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・管理者研修、常勤研修、非常勤研修、新入社員研修等、職員のレベルに合った研修を随時行い、スキルアップを図っている。 ・研修後、研修報告を利用しフィードバックしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・実践者研修、リーダー研修、管理者研修等外部研修に積極的に参加し、他事業所との交流、情報交換の場を設け質の向上を図っている。 ・法人内でも毎月の常勤研修、非常勤研修に参加し交流を深めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居前のアセスメントの段階で、本人の性格や生活歴を充分理解し、出身地や趣味等の話しが出来るようにする。 入居後はそれらを活用し、心に寄り添う介護を心掛け、信頼関係を築き、本人が自分の思いを伝えられる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・15同様、入居前アセスメントの段階で、本人はもちろんの事、家族の悩みや不安にも耳を傾け、今後の対応や方針を一緒に考え、信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人、家族との入居前アセスメントから導き出した、『今』のニーズを皆で一緒に考え、介護計画書へ反映し、納得いくまで話し合った結果、同意をいただいている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・テーブルを囲んで一緒に食事をとり、清掃をしながら会話を楽しみ、入浴時は一緒に歌を歌ったりと家族に近い関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族の方が面会にいらした時は現在の状況を詳しくお伝えし、またご家族には、ご本人の生活歴をうかがい、情報の共有に勤めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・年賀状、定期的なお友達への手紙を出すための支援をしている。 ・ご家族や友人の面会時にご希望にそえるよう環境に配慮し、その時間を充実し楽しい時間を過ごして頂けるよう努めている。 ・お墓参り、お葬式等ご家族の協力の下に支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご入居者様のその時の気分を尊重し声掛けに努めている。</li> <li>・散歩、ゲーム、掃除等スタッフも含め、ご入居者様同士が声を掛け合い、協力しあえる生活が出来るよう支援している。</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退去相談は勿論の事、退去後も必要であれば、いつでも相談できる体制を整えている。</li> <li>・入院から退去に至る場合、今後の施設や生活を把握している。</li> </ul>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活支援.コミュニケーションから、本人の思いを読み取り、その人らしい生活が出来ているのか常に全職員で検討している。</li> <li>・寄り添う介護で、思いを伝えられる方には心を開いて頂く努力。伝えられない方は、周辺症状や生活歴、表情から本人本位を読取れるよう介護技術の向上をめざしている。</li> </ul>		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に介護者は本人の入居アセスメント.介護計画書を確認し、理解した上でサービスを行うよう努めている。</li> <li>・本人との日々のコミュニケーションの中からこれまでの長く尊厳ある生活歴を1つ1つ聴ける様な関係作りを心掛けている。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々変化する認知症介護では、現状ケアに満足する事なく、常に変化に気付くよう観察し、スタッフ間でミーティングや連絡帳を使い情報の共有を行っている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝行うスタッフミーティング、月1回行うケア会議、連絡帳等で、本人の現状を把握し、本人、家族、担当医、居室担当とも充分話し合いをもちながら本人本位の介護計画を作成している。</li> <li>・3ヶ月に1回モニタリングを行い、現状について確認、評価している。</li> </ul>		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の状況、状態は必ず個人日誌、連絡帳に記録し、職員は共通の情報を共有し、介護計画書の見直しにも活用している。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、状態の変化、本人の思いを読み取り、現状必要としている事を見落とさないよう、スタッフ間の密な情報交換と既存のサービスに捉われない支援の工夫に日々努めている。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の回覧板、地元のスタッフの情報を収集して催し物や清掃に参加して四季折々の自然を満喫していただいている。</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医、看護師とは24時間体制で連絡が取れるように連携体制を整えている。月2回の訪問診療実施以外にも気軽に連絡、相談、指示を仰ぎ、安全で安心な生活を支援している。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・週一回の健康管理チェックを実施。医療情報交換を通し適切なケア、アドバイスを頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院、退院時には介護サマリー介護サマリーを介して情報を共有している。また退院後のより良い生活を支援できるようにMSWや主治医からアドバイスをいただいている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・入居時に医療機関との連携体制等についての重度化した指針について十分な説明と同意をいただいている。 ・終期末には主治医から十分な説明をご家族にいただき、同意の上、今後の方針を決め、主治医、看護師、ご家族、介護士で連携支援していく。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・定期的な研修を重ね、緊急マニュアルを確認しながら、スムーズに対応できる様に学んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・消防署協力のもと、様々な災害を想定し、研修、消火訓練、避難訓練を定期的実施している。その際、職員緊急連絡網・災害時の行動手順・備蓄の確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な研修を重ね、また定例の業務会議、ケア会議を通して話し合いをし、人格を尊重した声かけに努めている。</li> <li>ご利用者様の個人のデータは鍵付き書庫で管理している。</li> <li>契約書にも記載のある個人情報保護方針を事業所内に掲示し全職員理解し共有している。</li> </ul>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ全員傾聴を心掛けている。また居室担当者を置き、ご入居者様の様子の変化にいち早く気づき、ご自分の思いを語られるよう信頼関係を築く努力をしている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>『明るく・楽しく・自由に』のグループ理念に則りご本人の意思を尊重し、傾聴の姿勢を崩さずに支援している。</li> <li>パーソンセンタードケアの概念を取込み、ご本人の立場に立って考え、支援を行う。</li> <li>介護者主体の介護にならない様、常に疑問を持ち支援する様心掛けている。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の好みに任せ服を選んで頂いている。又お着替えがご本人で出来ない場合でも、複数の衣服を掲げご本人の意思により選択して頂く様にする等、楽しく充実した生活が送れる様工夫している。</li> <li>2.3ヶ月に1度、訪問美容に来て頂き、ご本人の望む髪型にしている。</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>食前はテーブル拭き、配膳等、出来る事に参加して頂いている。</li> <li>食事はご入居者様、スタッフ全員と一緒に談笑しながらご入居者様のペースに合わせて同じ物を頂いている。</li> <li>食後は出来る範囲で片付けや食器拭きに参加して頂いている。</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事チェック表にて食事、水分摂取量の確認、夏日は昼夜水分補給強化を行っている。</li> <li>・高齢者向けの配食を委託、メニュー、カロリー、脂質、塩分等詳細にバランスを考慮し記録保管も行う、月初は体重測定も行う。</li> <li>・健康状態を把握し、体調に合わせて刻み、トロミなど食事形態を変更、工夫している。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の歯磨きやうがいの声掛け、介助を行っている。</li> <li>・口腔ケアが通常用具で難しい場合は介護用全方向歯ブラシを使用し支援をしている。</li> <li>・就寝前の入れ歯洗浄実施。</li> <li>・訪問歯科による往診、指導を受けている。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄表、ケア会議などで本人の排泄パターンを把握し、さりげなくトイレ誘導する等、自立支援に努めている。</li> <li>・自尊心、尊厳を保てる様に、声かけと周囲の眼差しにも配慮しながら対応している。又、衛生面にも配慮している。</li> </ul>		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事では高齢者向け配食による綿密なバランス管理を行う。又、水分表を確認しながら1日1500ccの水分摂取を心掛けている。</li> <li>・ご本人の体調に合わせて散歩や体操等なるべく運動し安定した自己排便を促している。</li> <li>・排泄管理表を確認しながら便状況を確認し個々の状況を周知、対応を工夫している。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調チェックし可否判断を行っている。</li> <li>・不安や羞恥心を無くす様、個浴や同性介助等工夫し、楽しく入浴出来る様、色々な入浴剤を使用したり、歌唱しながらと本人の希望を聞きながら支援している。</li> <li>・ヒートショック、湯温、皮膚変調、疾患にも注意を払っている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中声掛けにより本人の体調を考慮しながら散歩やレクリエーション等に参加して頂き、夜間の良眠に繋がるよう工夫している。</li> <li>・強制、強要、否定等により負の感情を誘発させず、肯定、傾聴、納得(して頂く)等によりご本人の尊厳を尊び穏やかな気持ちで、夜間快適に安眠出来るよう努めている。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア会議等でご利用者様方の薬の内容、変化、目的、状態について主治医意見、薬情報をもとに話し合っている。投薬チェック表を確認しながら食後の服用を見届けるよう支援している。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃や洗濯物たたみ、配膳等、ご本人らしい生活が出来るような役割を持ち生活できるよう支援している。</li> <li>・散歩、カラオケ、読書等、生活歴からご本人が好む時間が過ごせるよう支援している。</li> </ul>		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の良い日はご入居者様方の希望を聞き、近隣への散歩が日課になっている。コース、行き先はご利用者様一人一人の状態、希望に合わせて選んでいる。また、お花見、初詣の神社参拝などご本人の希望に沿うよう支援している。お墓参り等の遠出希望はご家族様に相談し、支援している。</li> </ul>		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様と一緒に買い物に行き、金銭感覚を維持できるように努めている。金銭管理が難しい方の購入希望物は、ご家族様に相談、確認し、職員が行っている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族からの電話の取り次ぎや伝言、希望に応じてご家族への電話をかける事の支援をしている。</li> <li>年賀状や手紙のやり取りも、希望に応じて対応している。</li> </ul>		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>共用フロアは、清潔でゆったりとした空間を造り、ご利用様が安全で動きやすいスペースを確保している。また観葉植物やお花等も飾り、ご利用者様に季節感を感じていただいている。</li> <li>掲示板には、行事や思い出の写真等を飾り、ご利用者様に楽しんでいただいている。</li> </ul>		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>リビングのテレビ観賞を中心に、会話や読書など、ご入居様がゆったりとくつろげる空間造りを心掛けている。また居室、リビング、中庭等自由に行き来できる環境作りに努めている。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>居心地良く過ごして頂く為に、ご本人と一緒に室内の整理整頓を行い、清潔で利用しやすいお部屋の維持に努めてる。また馴染みの物を置くことで安心して生活出来るよう工夫している。</li> <li>窓を開けての空気の入替えは毎日行い、エアコンのフィルター清掃も月に二回実施している。</li> </ul>		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全第一をモットーに、居室を始め、廊下やお風呂場などには手摺を設置してる。</li> <li>ご入居者様には無理のない自立した生活を送って頂ける様に、ベッドの高さの工夫や椅子やテーブルの位置を工夫している。</li> </ul>		

目 標 達 成 計 画

事業所

のんびり一す等々力

作成日

平成26年11月20日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策における地域との協力体制	災害時は昼夜問わず、近隣住民の協力が得られるような関係を築く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の社内報の配布による顔馴染みの関係作り</li> <li>・町内会への加入及び行事への参加</li> <li>・災害時の協力内容のマニュアル化</li> </ul>	1年
2	4	運営推進会議の出席者の増加	特にご家族には、運営推進会議の意味を理解していただき、興味をもって参加していただく事で事業の運営に活したい	開催時、ご家族や地域住民の方が興味を持っていただける様な行事や講習会を同時開催する	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。